



2022年11月14日

各位

会社名 株式会社力の源ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 河原 成美
(コード番号: 3561 東証プライム)
問い合わせ先 取締役CSO 山根 智之
(TEL. 03-6264-3899)

2023年3月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績の差異 および通期連結業績予想修正に関するお知らせ

当社は、2022年5月13日に公表しました2023年3月期第2四半期累計期間（2022年4月1日～2022年9月30日）の連結業績予想値と本日公表の実績値との差異について、および2023年3月期通期（2022年4月1日～2023年3月31日）連結業績予想数値について、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績の差異

(1) 第2四半期累計期間連結業績予想値と実績値との差異（2022年4月1日～2022年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 11,289	百万円 479	百万円 469	百万円 296	円 銭 11.18
今回発表実績(B)	11,691	799	929	694	25.33
増減額(B-A)	402	320	460	398	—
増減率(%)	3.6	66.8	98.1	133.9	—
※(ご参考)2022年3月期第2四半期	8,760	262	249	102	3.93

(2) 差異の理由

第2四半期連結累計期間については、新型コロナウイルス感染症の影響や、ロシア・ウクライナ情勢に起因する原材料及びエネルギー価格の上昇や、世界的なインフレ率の上昇、円安の急速な進行、労働人口の減少等による人件費の上昇等、様々な不安定要素がありながらも、季節商品や地域限定商品の提供による売上の増加、タブレットオーダー導入等のDX施策によるコスト削減、原材料価格やエネルギー価格の上昇に対応した価格改定等の施策を行いました。特に海外においては、新型コロナ感染症にかかる規制緩和後の客数の回復が国内に比べて非常に早かったため、前述の施策効果が大きかったこと、さらに当期初より続く為替の影響により、大幅な増益となりました。

以上の結果、第2四半期連結累計期間においては、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益、全ての段階において、当初の予想を上回りました。

2. 2023年3月期 通期連結の業績予想値の修正

(1) 通期連結の業績予想値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 23,705	百万円 1,383	百万円 1,355	百万円 950	円 銭 35.90
今回修正予想(B)	24,500	1,710	1,830	1,350	48.13
増減額 (B-A)	795	327	475	400	—
増減率 (%)	3.4	23.6	35.0	42.1	—
※(ご参考)2022年3月期	19,398	1,050	1,083	923	34.91

(2) 修正の理由

第3四半期以降も各施策の継続により堅調に推移する見込みであります。しかしながら、今後の気温の低下に伴う新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの感染者数の増加や、為替、原材料やエネルギー価格の動向等が不透明であることから、上表の増収増益幅といたしました。

※ 上記の予想値は、現時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上